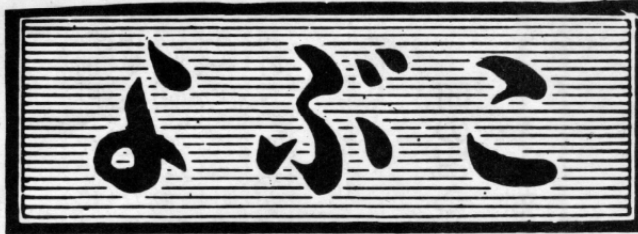




町
報



発行 呼子町・編集 企画課・印刷 唐津印刷有限会社

町 勢

昭和55年 7 月末現在
住民基本台帳による
人 口 男 3,699人
女 3,949人
計 7,646人
世帯数 2,086世帯
一戸平均 3.74人



尾の上公園の雲

残暑はちよっぴり

九州北部の3ヵ月予報

9 月は曇りの日が多く、残暑もちよっぴりー福岡管区気象台は20日、九州北部地方の3ヵ月予報を発表されました。それによりまずと、9月末から10月半ばまでは秋雨が降りやすいようですが、11月には秋晴れの日が多くなりそうです。影響する台風は9、10月に1、2個ある見込みです。

【9月】 8月下旬に引き続き月初めは曇りの日が多く、その後一時暑い日もありますが長続きしないで、月半ばごろから移動性高気圧が通るようになります。月末には秋雨が降りやすくなる見込みです。

【10月】 秋雨前線の影響で、月半ばごろまで曇りや雨の日が多く、その後は移動性高気圧が周期的に通る、秋晴れの日が多く、日中は気温が上がりそうです。月末ごろ一時気温が下がる時期が予想されます。

【11月】 大きな移動性高気圧に覆われ、温暖な秋晴れの日が多くなる見込みです。月末には発達した低気圧が通った後、一時冬型の気圧配置となり、寒くなりそうです。



前谷町長

抱負を語る



前町長死亡による呼子町長選挙は、昭和45年以来10年ぶりでしたので、このためか町の皆さんの関心も非常に高かったように見受けられました。8月24日告示され、町の皆さんの支持を受けられて、前谷康司町長の当選が決まりました。

新しく町長になられた前谷町長はその抱負を次のように話されました。

町の皆さんとの

“対話の町政”を大切に

全力投球で望みたい

このたび町の皆さんのご支援とご協力によりまして、町政を担うことになりました。

町の皆さん多数の方々から寄せられましたご厚情に対し、ここから深く感謝申し上げます。

選挙戦で政策を町の皆さんに訴えて、その批判をお願いしたわけ

ですが、今回当選致しまして今後四年間の町政を任せられることになりました。この町の皆さんの信頼に応えるため、皆さんとの“対話の町政”を大切に、全力投球をしたいと思っております。

“水光呼子”産業文化の町の

実現に、年次計画で

自然と生活それに生産といったそれぞれの環境がとけあわせられ、一つの基盤となった。“水光呼子”産業文化の町“づくりを目指します。そのために、昭和53年7月に出来ました新長期総合開発計画に沿って、それぞれの実施計画によって、年次計画もねりあわせて町の姿を具体化させていきたいと考えています。

◇ ◇ ◇

前町長宿願の国鉄呼子線の開通と、加部島架橋の完成が、呼子町の基盤整備の二大柱として重要な目標ですし、どちらも町の皆さんの生活圏の飛躍と産業の振興に大いにプラスになるでしょう。

産業の振興では、“水光呼子”のイメージアップを計るためにも商工観光面への強力推進を行いたいと思います。たとえば町の中心

部に駐車場を作って、観光客のより一層の増加を計ることなど考えております。

農業面では、上場開発事業により、農業経営基盤の整備がなされて、近代化された農業経営が計られます。漁業面に於ては、新沿岸

漁業構造改善事業によって、たとえば今小川島に出来上っている漁村センターなどの外、魚の住む漁

礁、稚貝からさざえやあわびに成長させる、幼稚仔保育場造成、漁具倉庫、給油タンク、上架施設などの整備が計られます。尚亦第六、七次漁港整備計画等により、第六次整備はすでに始められています

が、漁港の防波堤、物揚場、港内の浚渫、用地造成、臨港道路などの整備を行なって水産業の発展を考えています。

産業の振興と表裏一体をなす事業に、道路網の整備がありますが水路の整備と共に、積極的に対応していきたいと考えています。

教育面では、各学校の校舎も老朽化していますので、それぞれに改築していきたいと思っていますし、亦健康でふれあい豊かな町民生活をつくるためには、コミュニティづくりが必要です。

最近のように急激な社会構造の変化がみられる社会にありましては、必要とされる知識や技術も絶えず変化しますので、学校を卒業した後においても、生涯にわたって教育や学習が必要であることが強調されています。いわゆる生涯教育の提唱も当然考えられねばなりません。このためには現在の社会教育予算では無理があるようですので、予算をいただいて実のりのある社会教育の基盤を整備したいと考えております。

厚生福祉の面では、生き甲斐のある心かよった福祉の向上のための社会福祉センターの建設や、離島不燃物ごみの問題とか、町内の大型ごみの廃棄の問題など、生活環境の整備も心掛けています。

尚亦私が前々から考えておりました町行政対処の基本的な姿勢の一つとして、町政をおこなうについで、町の皆さんとの話し合いの場づくりをして、皆さん一人、一人が行政に参加していただいで、町行政の協力者としてご支援をお願いしたいと考えております。

町の防災工事進む

宮の町坊山など四ヶ所で

県の急傾斜崩壊危険区域に指定されている呼子町坊山(宮の町)など、一帯4ヶ所では、いま防災工事が急ピッチで進められています。

私たちの町は港町で、海岸からせり上がったがけの下に民家が建っていますので、雨のひどいときには早々に避難をしなければならぬ状況でした。

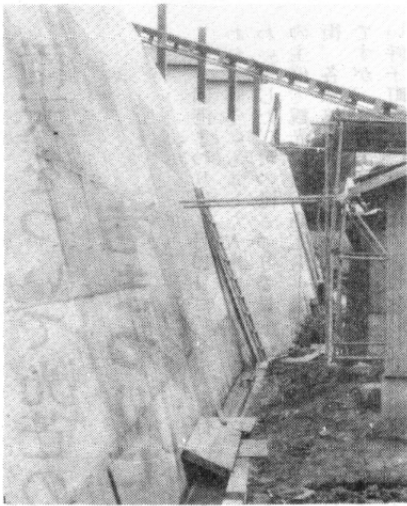
県では、この様な状態を早急に解決しなければと、50年から防災工事が進められています。

現況では、坊山地区三百五十畝(清水川から天満川まで)、▽高尾地区四百四十三畝(天満川から呼子川まで)、▽殿之浦地区五百五畝、以上の3地区合計一千二百

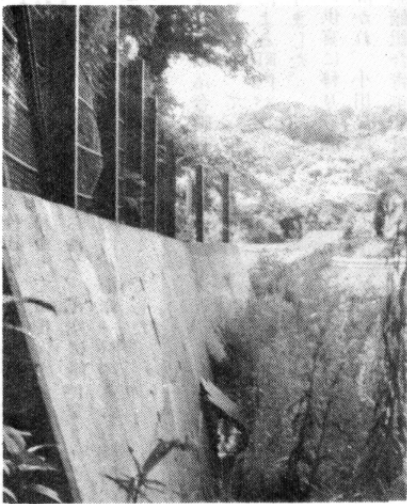
九十八畝が、昭和54年度迄で工事を完了となっています。

尚擁壁工事は完了してはいますが、落石等の防護柵工事が今年度事業として、坊山・高尾地区で計画実施されます。又小川島地区も54年度より実施されていますので、今年度から実施予定の愛宕地区も加わり全体で4ヶ所となります。

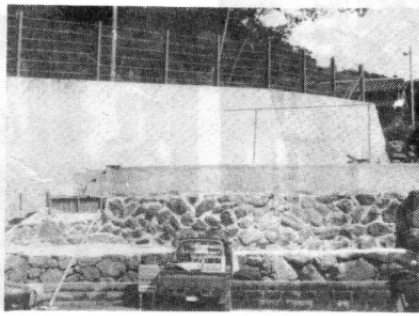
総工事は約二億一千万円です。工事の概要としては民家とがけの間に高さが約3畝から6畝位のコンクリート擁壁を築く工事です。残部の役場以北地区についても他地域の工事進捗状況により計画実施の予定となっています。



防護壁 宮の町



松浦町



天満町



国勢調査

昭和55年10月1日(水)

人ひとり世帯一つが国の基礎
明日のため今日の日本を知る調査
パパにママ ボクも書いたね国勢調査



10月1日、全国いっせいに国勢調査が実施されます。国勢調査は大正9年の第1回調査以来5年ごとに行われ、今回は第13回目に当たります。9月24日から30日の間に調査員が皆さんの自宅に調査表をお配りし、記入をお願いすることになっています。お宅にふだん住んでいる方(長期滞在している方や生まれたばかりの赤ちゃんも含みます)について、もれなく記入してください。10月1日から5日まで、調査員が取り集めに伺います。国勢調査の結果は、国や都道府県、市町村などのこれからの行政の基礎となり、皆さんのより良い暮らしづくり、例えば福祉対策、雇用対策、交通対策、環境整備計画、住宅建設計画などに利用されます。また今回の調査は、アメリカ、イギリス、ソビエト、中国をはじめ世界的な規模で行われる「一九八〇年世界人口・住宅センサス計画」の一環をなすものであり、国際的事業としても重要な意義をもっています。皆さんの理解あるご協力をお願いします。

秋の全国交通安全運動

9月21日～30日

- 一、安全運転の確保
特に無謀運転の防止
- 二、歩行者、特に老人と子供の交通事故防止
- 三、自転車及び、原動機付自転車の安全利用の促進

今年に入ってから交通事故死亡事故の増加は、極めて憂慮すべき状況にあります。7月26日には、「呼子町交通安全母の会」も結成され、広く町民に交通安全思想を普及徹底し、家庭内から正しい交通ルールと、マナーの実践を習慣付けるよう努力しておりますが、死亡事故警報が発令されるような状況です。

今回の重点目標である 無謀運転の防止、老人と子供の交通事故防止等を強力に推進するためにも町民の一人一人が、運転者の立場や、歩行者の立場になって、交通安全防止に努めましょう。

明るく健康な職場は、作業環境の改善から
第31回全国労働衛生週間
10月1日～7日
準備月間 9月1日～30日

雨天をついて光芒の乱舞

港まつりにぎわう

第6回港まつりは8月19日に行われ、昨年にもまた人出でにぎわいました。町の港まつり委員会主催で観光協会、商工会、商店街、各漁協の共催で開かれたものですが、8月の休みに催し物の少い呼子町に、こんなに立派な催し物が定着して来たのは有難いことです。

第6回港まつりは8月19日に行われ、昨年もまた人出でにぎわいました。今回は前落合町長の亡くなられたこともあって、自衛隊の方々などによる町内パレードは取止めになりました。夕方からは夜の供宴に移り、商店街では夜市が開かれ、小川島渡船荷揚場では、旅館組合青年部員たちのタイの生き作り、松田旅館の前では、天満町区の皆さんの生ビールガーデンなど開かれて大繁盛のようでした。終り近くになって雨になって大変でしたが、呼子漁港の防波堤突端からの打上花火は、水中花火や

仕掛花火などと共に、約一時間におわたつての花火大会がくりひろげられて、夜空に飛び交う光芒の乱舞に、海岸一杯の人々も陶酔のひとときでした。



▲打上花火



▲魚供養



夜市

県消防操法大会



最悪の天気で上位ならず 第15回県消防操法大会

8月22日午前9時から佐賀市兵庫町の県消防学校グラウンドで、各市郡代表者の消防団員や幹部約千五百人が参加して開かれました。時おり強い雨が降る悪天候のなかで、団員は消防ポンプ自動車操法、小型ポンプ操法、ラッパ吹奏競技、訓練礼式の4種目にわたり、これまで練習した成果を発揮して熱戦が続けられました。

県消防操法大会は、消防団員の消防技術を練磨して、敏速適切な行動を習得、消防精神を養い士気の高揚を図るために2年に1回開かれてくるものです。

港内スローを 守ろう

最近呼子港内に出入港する漁船や、一般船舶も数多くなつて来たように見受けられます。亦船体も大型化し、速度も非常に速くなつて来ています。この為港内を速度制限なく航行されると、非常に大きな波浪が生じて、この波浪による係船中(船を岸につないでいる状態)の漁船の被害が続出していています。

港の中はお互いの家の中も同様と思われまふ。出入港のはげしくなつた港内での危険をなくすると共に、波浪による漁船や船舶の被害を無くすため、港内では必ずスピードを落して、他船に迷惑のかけない速度で航行しましょう。

水産課



第31回東松浦郡民体育大会終る

呼子町は総合で4位

8月2日・3日鎮西会場、呼子会場で開催されました第31回東松浦郡民体育大会にて、町からは14種目に出場、二百五十人の代表選手が活躍されて、総合4位の成績でした。

総合①相知②厳木③浜玉④呼子

⑤七山、上位入賞の各種目成績は次の通りです。

▽陸上競技、百歳50歳以上②位、柴田英夫、百歳30歳未満①位、村上雄、男子児童生徒小学生四百リレー③位、女子砲丸投②位、

小峰美幸、女子走幅跳①位、平山薫、女子四百リレー③位、女子児童生徒小学生四百リレー①位、▽ソフトボール、一般男子③位、壮年男子①位

▽バドミントン、一般男子③位、一般女子②位

▽弓道 一般男女③位

▽バレーボール 一般女子②位

▽軟式野球①位

▽剣道 一般①位

▽軟式庭球 成年男子③位

▽卓球 一般男女③位



壮年ソフト優勝



レディスシニアバレーチーム



▽水泳①位
▽バレーレディスシニア②位
尚10月4・5日の両日に開催されます第33回県民体育大会に、壮年男子ソフトボール(4日)伊万里商業高校G4(5日)伊万里商業高校G2▽軟式野球(4日・5日)伊万里市国見台野球場、国見中G、有田赤坂球場・有田中G▽剣道(5日9時30分)伊万里市国見台武道館の三種目に郡代表として出場されますので、ご声援をおねがいします。尚出場選手皆さんのご活躍を期待します。

“意欲ある島づくり”をめざして

佐賀県離島青年会議

八月二三日の両日波戸岬国民

宿舎に於て県内の離島青年が一堂に会して、自分達の島の振興について、熱のこもった討議や研修を行いました。

意見発表に続いて青年達は、後継者を如何にして確保するか、島の産業振興にはどんな手立てがあるのかを討議し、振興の実態に即した三人の講師の夢のある講演に熱心な質問も数多く出ていました。

たのんだぞ！

会議のしめくくりとして「青年自ら意欲をもって島づくりに取組もう」と決議をし、それぞれの島で知恵を出し合って住みよい地域づくりに励む心構えを示しました。そのあと各島対抗のソフトボール大会が行われ加部島は惜しくも準優勝となりましたが、小川島は全



小川島青年団

員をモットーに三チームを作って大会を盛り上げ、二回戦進出はなりませんでしたが立派な試合で今回の青年会議の象徴的な存在となりました。

年金権をなくさないために、保険料は忘れずに納めて下さい

国民年金の保険料は、忘れずに納めていますか。

保険料を納め忘れてそのままにしていると、思いがけない事故にあつて体が不自由になったり、不幸にして夫をなくし母子家庭になったときなどに障害年金や母子年金などが受けられないこともあり

ます。また保険料の納め忘れを、そのままにして2年を過ぎると時効になり納められなくなります。そうすると、保険料納付期間が不足して、将来、老令年金が受けられないということにもなりかねません。こんなことにならないために、いつも、キチン、と保険料を納期限までに納めて下さい。

年金係より



大友遺跡発掘調査終わる

初の支石墓確認、人骨20体やヒスイも

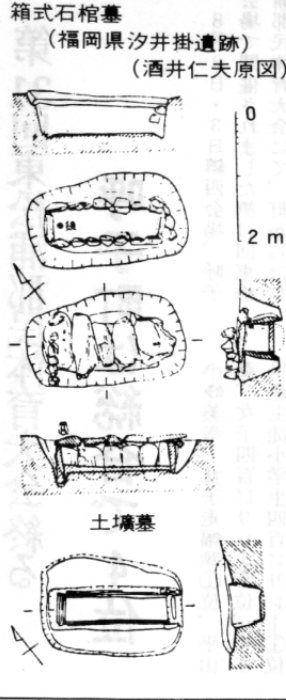
弥生時代の集合墓地で知られて
います町大友海岸の「大友遺跡」
発掘調査が、8月20日に終わしま
した。今回の発掘では人骨20体の
ほか「大友遺跡」初めの支石墓
一基が確認された外、ヒスイの玉
2個も出土しました。調査にあた
られた静岡大学文学部考古学研
究室の藤田等教授ら調査団は「墓
の形式が変化に富んでいるのが特
徴で、縄文時代の名残が強い在地
人と南方系の渡来人が共同で築き
上げた特異な混合文化」とみてお
られます。尚結果報告書は来年三
月までにまとまる予定との事です。
町教委では報告書に基づき県教
委と相談の上で、国の史跡指定を
受けて「地区民の運動公園」の形
で保存される予定計画です。
調査は、地区民の運動場づくり

など開発計画に備えて、町が県と
国の補助で藤田教授らに依頼され
たもので、去年から2年計画で、
藤田教授を中心に長崎大学医学部
解剖学第2教室の内藤芳篤教授（
人類学）や九大、静岡大、筑波大
など4大学考古学研究室の学生の
方々等計15人が参加して行われま
した。また鎮西町打上中学校の原
口洪泰教諭（民族学）らも協力さ
れました。

今回出土したのは土壇墓（どこ
うば）やかめ棺、箱式石棺をはじ
め、同遺跡としては初めての支石
墓1基計24基。墓群からは人骨20
体と副葬品として土壇墓から装飾
用ヒスイの玉2個と管玉7個。支
石墓から人骨の右腕にはめられた
貝の腕輪3個などが出土しました。
同遺跡の考古学上の特徴は「九

州北部の弥生遺跡で出土するのは
一般的にかめ棺と土壇墓の組み合
わせだが、大友遺跡では箱型石棺
支石墓が加わって四種類と変化に
富んだ墓制、腕輪の貝は南西諸島
でとれるゴボウ貝で、南方から
の渡来人があつたこと」とされて
います。

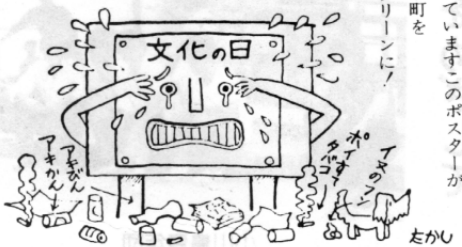
尚支石墓（しせきぼ）と云うの
は弥生時代の埋葬形式の一部の方
法で、地表上に巨大な平石（礫石
）を数個の塊石で支えたもの（支
石）を上部施設とし、その下部地
表下に、甕棺・箱式石棺、土壇、
石囲みなどの埋葬施設を持つもの
です。ヨーロッパで「ドルメン」
と呼ぶ巨石墳墓に類似して、朝鮮
半島の文化墓に源流を持つと考え
られています。同じ朝鮮半島の支
石墓でも、北方式と南方式に区分
されわが国でも北九州地方に限っ
て分布が見られ、現在のところ福
岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、
大分県で10カ所以上発見されてい
ます。佐賀県では土壇を持った遺
跡が唐津付近に分布が集中して見
られるとの事です。



拾得物件公告

左記物件の届出がありましたか
ら、心当たりの方は、速かに、呼
子警察署に届け出て下さい。

昭和五五年八月二九日
呼子警察署長



- 記
- 一、物件（種類等）
(一) 指輪……一個
(台、プラチナ、九〇〇
ダイヤらしき物五個入り)
(二) 指輪ケース（赤と白色、
だ円形）
 - 二、拾得日時
昭和五五年七月一八日
午後五時頃
 - 三、拾得場所
東松浦郡呼子町愛宕町
昭和バス呼子営業所前付
近の路上
- ※ 連絡先
東松浦郡呼子町殿ノ浦九七
〇ノ一
呼子警察署
〔電話〕
〇九五五八二一三〇二四



お誕生

山下 哲（清勝 4男）先方町
彦坂 健一（時男 長男）釣町
渡辺 英子（勝徳 長女）殿之浦浜
井口万樹雄（弘尊 長男）小川島
石井 千絵（尊男 3女）



高砂や

小島 一郎（加部島
杉みのぶ）

小峰正農夫（川端町
宗美佐子）鎮西町



おくやみ

落合 勝郎（75歳）先方町
川崎 春治（70歳）海士町
岡 ハルエ（77歳）中町
山崎 政雄（53歳）
寒松 一子（51歳）愛宕町
末兼 キヌ（80歳）殿之浦岡
中江 ヨシ（88歳）小友
野口 末吉（67歳）
松尾ユキヨ（61歳）加部島
石井キソコ（60歳）小川島

香典返し御礼

小林太一（殿ノ浦浜）故父又右左門様
加茂良一殿（先方町）故母リキ様
一、品物（一包）小林清和殿
（殿之浦浜）